

公益社団法人五泉市シルバー人材センター 役員の報酬等及び費用に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、公益社団法人五泉市シルバー人材センター(以下「センター」という。)の定款第28条3項の規定に基づき、役員の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とし、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「一般社団・財団法人法」という。)並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(以下「公益認定法」という。)の規定に照らし、妥当性と透明性の確保を図るものとする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 常勤役員とは、総会で選任された理事のうち、センターを主たる勤務場所とする者をいう。
- (3) 非常勤役員とは、常勤役員以外の者をいう。
- (4) 報酬等とは、公益認定法第5条第13号に定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であって、その名称のいかんを問わない。費用とは明確に区分されるものとする。
- (5) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する交通費、旅費、手数料等の経費をいう。報酬等とは明確に区分されるものとする。

(報酬等の支給)

第3条 センターは、役員の職務執行の対価として報酬を支給することができる。

(報酬等の額の決定)

第4条 役員の報酬額は、別表1に定める金額の範囲内として、理事会の承認を得て、決定するものとする。

(報酬等の支給日)

第5条 役員の報酬等の支払いについては、その都度支給するものとする。

- (1) 理事会等の出席に対する報酬については、日額を支給するものとする。
- (2) その他の報酬については、毎年度末に支給するものとする。

(報酬等の支給方法)

第6条 報酬等は、原則として現金支給とする。

- 2 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出のあった立替金、積立金等を控除して支給する。

(費用)

第7条 センターは役員が職務の遂行に当たって負担した費用については、これの請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

2 費用の額は、別表2により予算の範囲内において支払う。

(公表)

第8条 センターは、この規程をもって、公益認定法第20条第1項に定める報酬等の基準として公表するものとする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、総会の決議を経て行う。

(補足)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

附 則

この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。

別 表 1 役員報酬額

(1) 日額報酬額

理事会等は2,800円の範囲内とする。

(2) 年報酬額

理事長	60,000円までの範囲以内
副理事長	36,000円までの範囲以内
理事	24,000円までの範囲以内
監事	24,000円までの範囲以内

別 表 2 費用の額

(1) 役員自宅からセンター又は開催場所までの距離に基づく次の額

キロメートル当たり 20円とする。

(2) 役員管外職務に係る費用 役員等旅費支給規程に定める額

(3) その他 実費